

JCHO札幌北辰病院広報誌 ポラリス

Polaris

hokushin.jcho.go.jp

No.64

2023.2

〈特集〉

看護師育成の取り組み



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO 札幌北辰病院

患者さんの 食べたい気持ちをサポートします



部署紹介

No.2 栄養管理室

栄養管理室は管理栄養士7名が所属する部署です。

病気を治療するうえで、大切な治療法の一つに食事療法があります。栄養管理室では、おいしく食べて、楽しく元気で毎日を過ごすことができるように、それぞれの患者さんに合った食事療法、栄養療法について一緒に考え、支援することを心がけています。

認定資格の取得にも積極的に取り組んでいます！

現在、糖尿病療養指導士5名、病態栄養専門管理栄養士2名、心不全療養指導士1名、NST専門療法士1名が在籍しています！

栄養サポートチーム
(NST)も活躍中！



低栄養状態の患者さんの栄養改善のため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、作業療法士、臨床検査技師などがチームとなり多職種で栄養管理を行っています。

Message 1

患者さんの視点に 合わせた栄養指導

当院では、外来・入院問わず栄養指導を実施しており、管理栄養士が疾患ごとに大切な食事のアドバイスをしています。

栄養管理は、病気の進行防止や回復・予後などの過程、治療の面でも大きな役割を担っており、大切な治療法です。

患者さん一人一人の生活環境や生活リズム、仕事などのライフスタイルに合わせた、無理なく取り組める食事の改善方法を提案できるように心がけています。

外来集団栄養食事指導の実施

定期的に糖尿病教室や透析教室の集団栄養指導も開催しています。

集団栄養指導では、糖尿病や腎臓病という病気を正しく理解してもらい、食事療法や運動療法など患者さんが自己管理できるように支援しています。



▲指導時に使用する資料は当院の管理栄養士が手作り。患者さんから分かりやすいと好評。

Message 2

おいしい病院食への 取り組み

病院での食事は、患者さんの治療を支える基であり、栄養管理を行う上でその質はとても重要なものです。

当院の給食は、給食委託先の㈱日総と当院の管理栄養士が協働して、毎週献立会議を実施する等、患者さんにおいしく食べていただけるように工夫しています。

毎月行事食を提供しています

当院では毎月、季節のイベントにちなんだ献立を提供する、行事食を実施しています。季節や旬の食材を取り入れて、普段ではなかなか提供が難しいメニューであっても、病院の食事を少しでも楽しんでいただきたいという思いを込めて、職員が一丸となって取り組んでいます。



山の日



文化の日

おうちでできる簡単レシピをご紹介します！



サバ缶のニラ和え



材料 (2人分)



サバ水煮缶
1缶



ニラ
1/2束



醤油
小さじ1



レモン汁
少々

作り方

- ① ニラは3センチほどに切り、たっぷりのお湯でさっと茹で、ザルにあげて冷水に取り、水気をきる。
- ② ボウルにサバ缶の汁小さじ1杯と醤油、レモン汁を合わせておく。
- ③ ②にサバの身をほぐし入れ、①を加えて混ぜ合わせて完成。

サバにはn-3系脂肪酸であるDHAやEPAが豊富に含まれ、動脈硬化予防やインスリンの働きを良くするなどの働きがあります。ニラの香りの成分であるアリシンの働きのひとつに、血行を良くして体を温める働きがあり、風邪予防や病後の回復にも役立ちます。



特集

看護師育成の取り組み

指導者からの説明に熱心にメモをとる新人看護師たち

病院に勤務するどの職種にも言えることですが、ライセンスを取得して初めてその職種のスタートラインに立てます。その後、一医療従事者として地域医療に貢献できるかは、自分自身の研鑽はもちろん、組織が効果的な育成体制を構築し、職員の育成に取り組むことが重要です。今回は当院の職員育成の取り組みの中から、看護師育成の取り組みについてご紹介します。

新人研修では看護技術の習得だけでなく、
患者さんと向き合うための看護倫理や
看護過程の考え方等も学んでいます！

看護部の概要

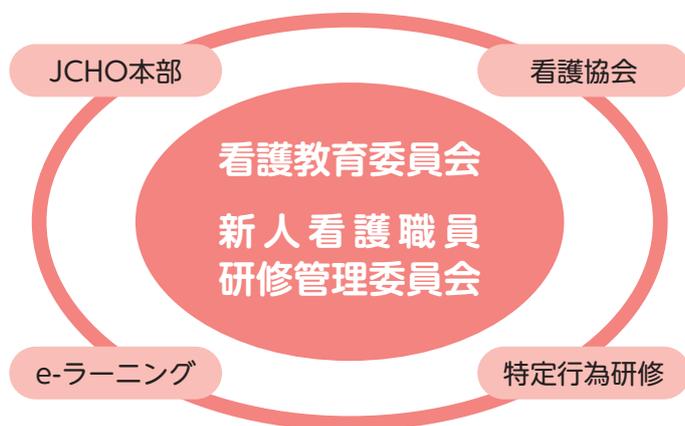
- 看護師数 204名（うち非常勤19名）
- 年間採用数 15～20名程度
- 部署数 11部署

（病棟、外来、内視鏡室、手術室、
患者総合サポートセンター、
透析室、健康管理センター）



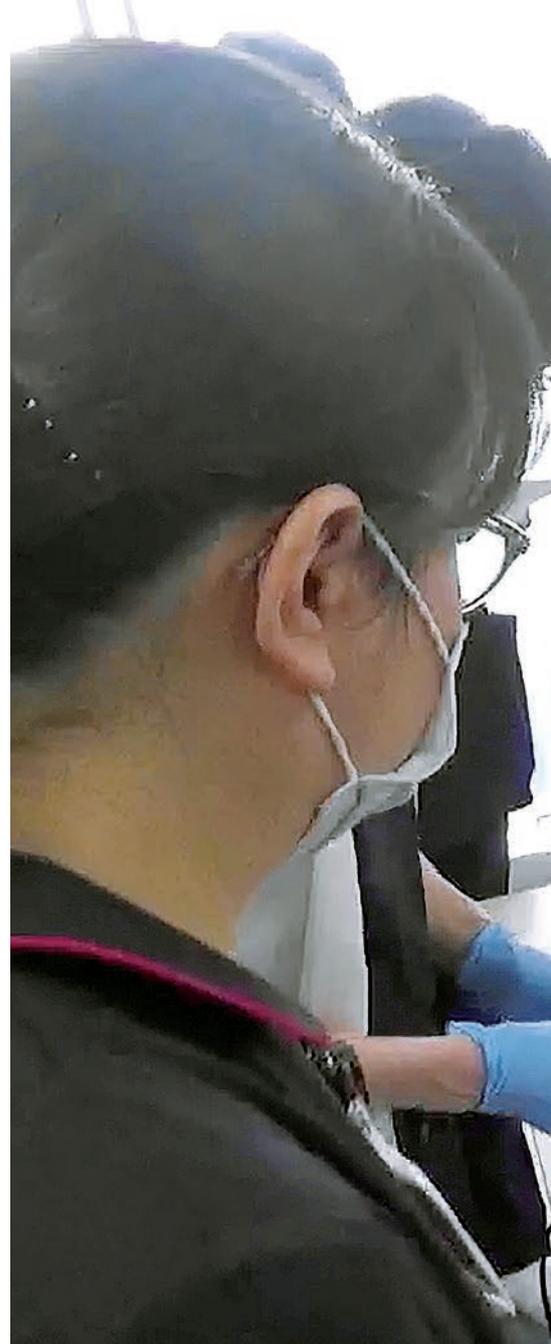
充実した看護師研修体制

看護部に組織する「看護教育委員会」主催研修（下記参照）と「新人看護職員研修管理委員会」主催の新人看護職員研修を教育の軸としています。それらを補完する位置づけとして、e-ラーニングの導入、看護協会主催研修、JCHO本部主催研修を活用しています。また、近年、特定行為研修の修練施設として認定を受けるなど看護師のキャリアアップ支援にも力を入れています。



プリセプター研修	文章の書き方	かん化学療法
問題解決技法	地域包括ケアシステム	がん性疼痛
事例検討	診療報酬	終末期のがん患者の看護
フォローアップ	摂食嚥下	看護過程
退院支援	意思決定支援	ナラティブ
リーダーシップ	リフレクション	災害看護
在宅療養支援	BLS	せん妄看護
臨床指導者	プレゼンテーション	多職種連携
フィジカルアセスメント	看護倫理	

▲ 看護教育委員会が実施している研修一覧
年間の延べ参加数は200名を超え、どの研修にも積極的な参加がある



▲ 新人看護職員研修「採血トレーニング」の一コマ

院内認定制度「静脈注射認定看護師」

医師の指示に基づいて看護師が行う静脈注射は保健師助産師看護師法に規定する診療補助行為ですが、その実施にあたっては医療機関が十分な安全を確保できる体制を敷くことが求められています。

当院では「院内静脈注射認定看護師」の認定制度を導入し、専門的な知識・技術を習得しています。また、認定者は認定を受けていない看護師の静脈注射の教育、指導も行っています。3年目以上の看護師を対象に毎年6月に開講、12月までのおよそ7か月間で、静脈注射実施に必要な知識・技術を学びます。

その後、筆記試験・実技試験に合格すると晴れて認定となります。平成28年度から開始したこの研修では延200人以上の看護師を認定して継続的教育を実現しています。



▲ 認定者を表す認定バッジ
バッジは名札へ装着します

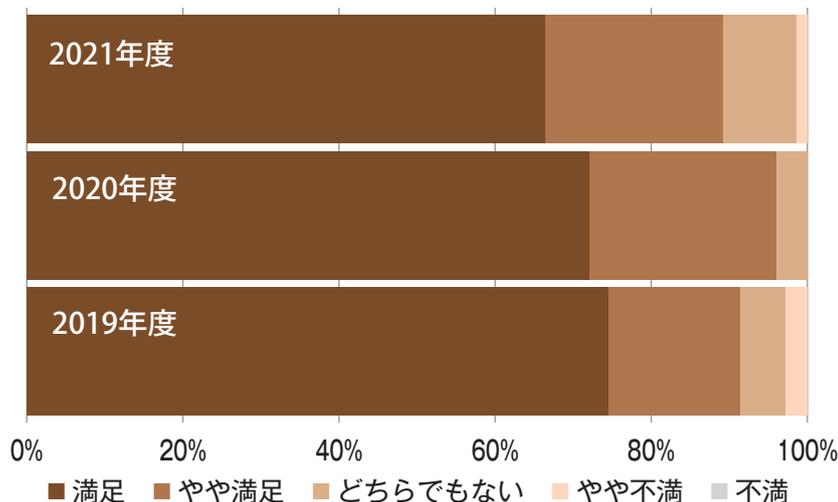
「特定看護師」の育成

「特定行為に係る看護師の研修制度」をご存じですか？
看護師が診療の補助として医療行為を実施するときは、基本的に医師の指示が必要です。しかし、この研修を修了した看護師は、手順書に従う条件のもとで、自分の判断で特定行為に区分される医療行為を実施できるようになります。医師の指示を待つことなくタイムリーな医療ケアを実践でき、医療の質向上はもちろん、高齢化による医療需要の増大への対応にもその働きが期待されています。
当院は特定行為38行為のうち透析管理等の6行為の研修が受けられる研修施設になっています。現在当院では透析管理の研修を修了した看護師が医師と協働して活躍しており、今後は他の領域でも特定看護師を輩出する予定です。

数字でナルホド 札幌北辰病院

JCHOでは毎年全施設で患者満足度調査を行い、ご利用いただいた方に病院の評価を付けていただいております。今回はその一部をご紹介します。

< 看護師の看護技術に対する満足度 >



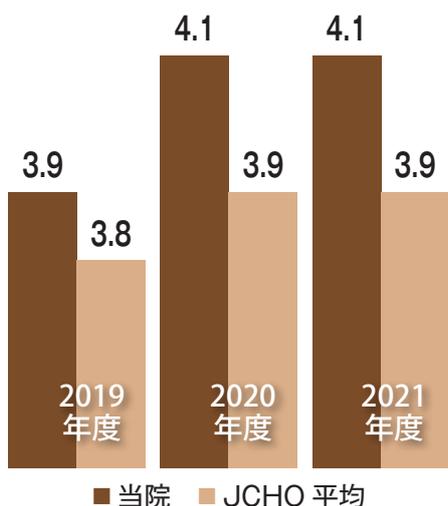
看護部では看護技術研鑽のため、院内に看護教育委員会を組織し、様々な研修を企画し継続的に実施しています。

患者満足度調査では90%以上の患者さんから好意的な評価をいただいております。しかし、近年は「満足」の占める割合が低下傾向にありますので、皆様の評価を真摯に受け止め、さらなる研鑽に努めて参ります。



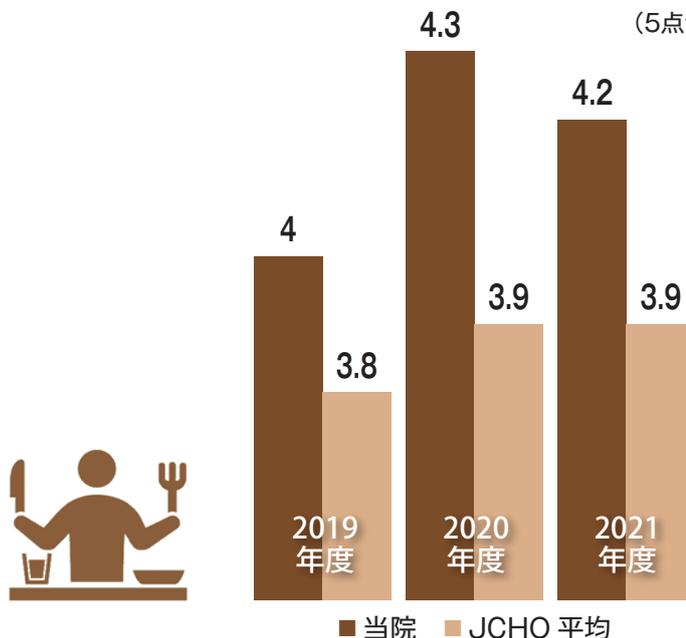
< 食事の「味」に対する評価 >

(5点満点)



< 食事の「メニュー」に対する評価 >

(5点満点)



入院中の患者さんにとって食事の満足は入院全体の満足度に大きく影響すると考えております。今号の記事で栄養管理室の取り組みを紹介したところですが、行事食の提供や毎週の献立会議の実施等、入院患者さんへ美味しく食事を召し上がっていただくための取り組みに力を注いでおります。

調査結果からその取り組みに対して、一定の評価をいただけたものと感じております。入院患者さん全員から満点評価をもらう事は無理かもしれませんが、「札幌北辰病院の食事は美味しい」という評判をいただけるよう今後も取り組んでまいります。

健康な体は美味しい食事から！

わたしのお仕事

患者さんの心に寄り添い 個性のある看護ケアを提供

4階西病棟 看護師 桑原 沙弓



入院中の環境変化を減らすことで、快適な入院生活を
提供できるように取り組んでいます。

Q1 看護師を目指したきっかけは？

祖父を亡くした時、悲しみから落ち込んでいた私に看護師の方が優しく声をかけてくれました。その姿にとっても感動を覚え、わたしも人の心に寄り添える看護師になりたいと思ったことがきっかけです。

Q2 どんなときにやりがいを感じますか？

働きがいたくさんありますが、1つだけ挙げるとしたら、個別性のある看護を考え、その方の要望に応えられたときにやりがいを感じます。そのためにも患者さん一人ひとりと深く関わることを大切にしています。

Q3 患者さんに向けてメッセージを

入院中にお困りのことがありましたら遠慮なくお声がけください。



Off shot

休日にはアクセサリを作って楽しんでます。細かい作業に没頭することでリフレッシュになります！



病院設備リニューアルNEWS



Before



After

エレベーターの老朽化に伴う更新工事が令和4年

9月に完了し、全面リニューアルいたしました。工事期間中はご不便をおかけいたしました。

新しいエレベーターでは、これまでにはなかった音声案内や液晶パネルでの文字案内機能を備え、快適に利用できるようになりました。液晶パネルには記念日や過去に起きた「今日」の出来事が表示されますので是非ご覧ください。



1: いきいき健康教室 **完全予約制**

2023年2月24日 **金** 14:00～ 当院2F 講義室
「慢性副鼻腔炎の治療について」 吉村 淳 (耳鼻咽喉科医師)

2023年3月22日 **水** 14:00～ 当院2F 講義室
「糖尿病について知ろう(仮)」 増田 創 (糖尿病内科診療部長)

2023年3月30日 **木** 14:00～ 当院2F 講義室
「高齢者の低栄養について(仮)」 川原 哉絵 (管理栄養士)

2: 市民公開講座 **完全予約制**

2023年2月25日 **土** 9:30～11:30 (受付・開場9:00～)
北広島市芸術文化ホール (花ホール) 北広島市中央6丁目2-1
「大腸がん治療とACPについて」 下國 達志 (外科診療部長)

申込方法 **011-893-3000** (受付時間：平日 9:00～16:00)

第7回 JCHO地域医療総合医学会 in 熊本

令和4年10月21日、22日に熊本城ホールにおいて第7回JCHO地域医療総合医学会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の流行により約4年ぶりの開催となったJCHO学会ですが、当院からは8名が演題を発表し、全国からは約2,300名が参加しました。事例紹介や活動報告など、情報交換の場として有意義な会となり、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲ 2016年4月の熊本地震で甚大な被害を受けた熊本城
現在も復興工事が行われていました

